

校訓「立志・勉勵・自主・友愛」

- ・自らの可能性を信じ、開拓し、目標を高く掲げ、その実現に向かって取り組む。
- ・謙虚であることと懸命に努力を重ねることの大切さを知り、困難に立ち向かう姿勢を培う。
- ・自らを見つめ、じっくり考え、適切な判断力と健全な批判力を養い、責任を持って行動する。
- ・自分のまわりの人やものを大切にするとともに、想像力を高め、他者を思いやる。



京都市立堀川高等学校 グランドデザイン

令和3年4月1日

最高目標「自立する18歳」の育成

生きていくための知識・教養に裏付けられた判断力と行動力を備え、人や社会と関わりあう中で育まれる想像力と創造力を活かし、自他の存在や価値の尊さを感じつつ、自己実現を図ろうとする生徒を育成する。それは、学校による学びの機会の提供と指導、そして生徒の意欲と行動によって構築される「豊かな学校」において実現される。

豊かな学校

THE NEST OF YOUTH -若者たちが飛躍する場-

集う人が考えるあたまと感じるこころを持ち、自分や他者、社会や世界にとって、「豊かさ」とは何かを1人1人が考える。疑問をもち、問題の解決に向けて正しく取り組む。そして、満足できる「形」を見つけ、その実現に向けて挑む。それらを可能にするために学び、思考し、表現し、振り返る。堀川高校はその時に必要となる「ことば」を大切にしている学校である。

◆ 3つの指導の柱

(学校による機会の提供と指導)

- 生徒に教養の獲得を促す指導
 - ・授業等の指導に関する研究、実践、改善を行う。
- 自己実現を図る進路目標の設定と達成に向けた取組を支援する指導
 - ・可能性を引き出し、情報を提供し、能力を開発する。
- 幅広い経験に基づく人間形成を図る指導
 - ・機会を提示し、取組を支援・指導し、主体性を育む。

◆ 堀川高等学校憲章

(生徒に求められる姿勢と行動)

- 多様な存在と価値を大切にし、時間と力を重ねて、**ひとつになる**ことをめざします。
- よりよいものを創出することを求め、困難に立ち向かい、工夫を重ねて一層の**高みに向かう**ことをめざします。
- 誇り高く生きることを願い、自己を見つめ、力を蓄えて、自覚した**ひとりになる**ことをめざします。

【アドミッション・ポリシー】

(入学時に求める生徒像)

多様な経験を通して得た学びを活用する能力と、自らの可能性を信じて高みをめざす態度を有する生徒

- 言語活動を通して、思慮深さ、正当な批判力と判断力と行動力を身につけようとする生徒
- 他者との関係性を考えながら、目標の設定や選択を行い、自己実現を図ろうとする生徒
- 学校生活の多様な取組に意欲と関心を持ち、主体性な経験を通じて人間形成を図ろうとする生徒

【カリキュラム・ポリシー】

(めざす目標・展開する教育活動・指導の観点)

生涯学び続けていく意欲と能力を備えた人材の育成にむけて、探究的な教育活動を展開する。よりよい社会を創造し先導するために必要な高い学力と豊かな知性を培い、感性を磨き、それらを活用しながら主体的に実践し、振り返り、挑戦を重ねることを支援する。

- 社会生活を営む上で必要な基本的教養を培う場であるという認識に基づいて、人文・自然・社会全般にわたる教養教育を進める。
- 社会においてどのような形で他者との関係性を構築するかということを前提とした自己実現を促す。
- 学校生活全般においてさまざまな経験を重ねることができる機会を提供し、自己管理能力や人権意識、道徳性を養う。

学年	First Stage		Second Stage		Final Stage	
目標	なれる	たのしむ	かえりみる	あそぶ	むかう	たつ
	謙虚に学ぶ姿勢を持ち、作法を身につける	他者と関わり、見聞を広げ、知性を育む	振り返り、調整し、学びを確かなものとする	枠を超え、外を感じ、失敗を恐れず挑む	明確な展望を持ち、支援を求め自ら歩む	総エネルギーを自覚し、力強く立ち向かう
中心となる教育活動	授業 / 探究基礎 / 文化祭 / 体育祭 / 委員会活動・スタッフ活動 / 宿泊研修		授業 / 探究基礎 / 文化祭 / 体育祭 / 委員会活動・スタッフ活動 / 宿泊研修		授業 / 探究活動 / 文化祭 / 体育祭 / 特別時間割	
所属感	「堀川を知り、堀川高校生になる」		「堀川の核となり、取組を先導する」		「堀川を語り、誇り、志高くはばたく」	
社会性	学校＝「小さな社会」での自覚・行動・責任		よりよい「小さな社会」づくりへの参画・参加		「大きな社会」での自己の在り方生き方の模索	
学習姿勢	目標と目的を意識した学習習慣の構築と評価		強みと弱みを知り、課題改善への取組の実践		方針と計画を立て、自ら考え学ぶ力の活用	
学力向上	学びの土台となる言語活用能力の徹底と定着		3教科の基礎力完成、5教科の学力充実		5教科の強靱な総合的・応用的実践力の養成	
進路目標	「遠い未来」の設計/「近い未来」に向けた選択		「遠い未来」のこだわり/「近い未来」への方策		「遠い未来」への覚悟/「近い未来」の実現	
探究基礎	学びの作法の習得と学問的関心の拡大		「問い」を立て「答え」を導く実践と振り返り		大学教育につながる「知りたい」意欲の涵養	
学校行事	対話の重視、他者との協働、役割の遂行		議論と止揚、リーダー/フォロワーによる組織的取組		高度な汎用的探究能力を活かした実践	
主体的活動	多様な取組を通して、自己を発見・発掘する		他の世界を知り、自己のさらなる可能性を拓く		困難に立ち向かい、自己に磨きをかける	
次ステージへ	「2月から2年生」自己の発見と新たな可能性		「2月から3年生」自己将来像の言語化		自己実現に求められる教養獲得と人格形成	

【グラデュエーション・ポリシー】

(卒業までに身につける力)

科学・文化の担い手、また、良識ある社会の担い手として、自己および人類の未来を切り拓く資質・能力

人間の文化や社会・行動、自然の現象や原理・法則などの社会的・学問的価値などを踏まえ、
幅広い教養を持ち、よりよい社会の実現や文化・科学・技術の発展を視野に、

- 目標を立てて、その実現に必要なことを予想し、方針をたてることができる。
- 事実や主張を多面的・批判的に検討し、根拠や理由から論理的に考えをまとめることができる。
- 自分の力で、また、他者とともに粘り強く取り組むことができる。

